



平成29年度片瀬・江の島まちづくり協議会 活動報告集



片瀬・江の島まちづくり協議会
(片瀬地区郷土づくり推進会議)
平成29年度委員編集

平成29年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集

目次

1. 協議会全体の活動について	P.1
2. 各部会の活動について	P.5
3. まちづくり事業について	P.8
(1)片瀬地区人材・情報バンクセンター事業	P.9
(2)ボランティアセンター事業	P.12
(3)まちかど相談事業	P.14
(4)青少年居場所事業	P.15
(5)小学生夏休みふれあい事業	P.16
(6)青少年ボランティア活動支援事業	P.17
(7)公民館活用事業	P.18
(8)まちかどミニベンチ設置事業	P.19
(9)生活道路の安全向上対策事業（※H28年度事業終了）	P.20
(10)緑と花いっぱい推進活動事業	P.21
(11)民俗文化財等継承事業	P.22
(12)江の島道の整備事業	P.23
(13)地域広報事業	P.24
4. 地域課題の検討について	P.26
(1)ごみの持ち帰り, ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題（※H28年度検討終了）	P.26
(2)小学生の居場所課題	P.28
(3)郷土魅力の検討課題	P.30
5. まちづくり地区集会について	P.33

1. 協議会全体の活動について

はじめに

片瀬・江の島まちづくり協議会（片瀬地区郷土づくり推進会議の通称）は、藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱及び片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領に基づき市が設置する会議体として新たに位置づけられた組織で、その役割には、地域の意見を集約しながら地域の課題を把握し課題解決に向けた方向性を検討することや、その検討結果により市への提案・提言等や地域の特性を活かした事業の企画・実施をすることにあります。

本書は、まちづくりの根幹となる市民参加制度「郷土づくり推進会議」がスタートしてから4年目となる平成29年度（2017年4月～2018年3月）について、片瀬地区のまちづくりを進めてきた片瀬・江の島まちづくり協議会の活動をまとめたものです。

1. 協議会全体の活動について

片瀬・江の島まちづくり協議会（以下、「協議会」といいます。）は、片瀬地区自治町内会連絡協議会等の片瀬地区で活動する地域団体等から選出された委員16人と公募委員8人（平成27年度末公募委員選考）の合計24人の委員により構成し、平成28年度から平成29年度までの2年間について市長から委嘱を受けて活動してきました。

協議会を円滑に運営するために、委員全員が出席する「全体会」、役員が出席する「役員会」、まちづくり事業や地域課題の検討を具体的に検討する「部会」、部会の担当分野に該当しない地域課題について解決に向けた方策の検討や取扱いの方向性を検討する「課題別検討ワーキンググループ（以下、「WG」といいます。）」の各種会議を必要に応じて開催してきました。

その中で、運営の柱となる役員について、議長（片瀬・江の島まちづくり協議会では「会長」という。）は、全体を代表することから片瀬地区自治町内会連絡協議会からの選出委員を充て、副議長（片瀬・江の島まちづくり協議会では「副会長」という。）の役に7つの部会から各部会長が就任しています。これは、まちづくり事業の推進を担っている部会のリーダーが役員となることで、協議会全体の運営と事業活動との連携がスムーズにとれ、かつ、各事業や地域での活動実践の視点から本音で議論・検討を進められる体制として、これまでの経験を踏まえ採用しているものです。このような形で、役員会において議題についての検討を集中的に行い、全体会へ議論のたたき台として提案していくことで、より充実した活動につながってきたものと評価しています。

平成29年度に開催した全体会等の会議の開催状況や議題は、次のとおりです。

（※2～3月については見込み）

平成 29 年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集

1. 協議会全体の活動について

■全体会（12回、延べ295人出席、会場：第1談話室）※見込み

回	日時	出席人数(人)			議題等					
		委員	傍聴	事務局 合計	計画	地区 集会	広 報 紙	地域 課題	その他	
1	4月21日(金) 14:30~17:00	21		7	28	企画	企画	企画	検討	市長との意見交換会
2	5月16日(火) 18:30~20:00	17		6	23		↓	↓	↓	5/20地区集会
3	6月16日(金) 18:30~20:40	19		6	25	予算	評価			
4	7月18日(火) 18:30~20:30	16		6	22		企画	企画		
5	8月18日(金) 18:30~20:30	19		6	25		↓	↓	↓	
6	9月19日(火) 18:30~20:45	17		6	23	予算		↓		
7	10月17日(火) 18:30~20:30	20		6	26	予算	↓			10/24地区集会
8	11月21日(火) 18:30~20:30	17		5	22		評価 企画	企画		
9	12月15日(金) 14:30~16:30	14		5	19	組織 計画	企画			
10	1月26日(金) 18:30~20:00	16		6	22	↓	↓	企画		
11	2月20日(火) 予定	24		6	30		↓	↓		2/24地区集会
12	3月20日(火) 予定	24		6	30	↓	評価	↓	↓	
合計		224	0	71	295					

■役員会（12回、延べ123人出席、会場：第2談話室）※見込み

回	日時	出席人数(人)			議題等					
		役員	事務局	合計	計画	地区 集会	広 報 紙	地域 課題	その他	
1	4月6日(木) 18:30~20:30	7	3	10	10	企画	企画	企画	検討	
2	5月1日(月) 18:30~20:00	6	3	9	9		↓		↓	
3	6月2日(金) 18:30~20:30	7	3	10	10	予算	評価	企画		
4	7月3日(月) 18:30~21:00	6	3	9	9		企画	↓		
5	8月3日(木) 18:30~20:45	7	3	10	10		↓		↓	
6	9月4日(月) 18:30~21:30	8	3	11	11	予算		企画		
7	10月3日(火) 18:30~20:40	8	2	10	10		↓		↓	
8	11月6日(月) 18:30~20:30	8	3	11	11		評価 企画	企画		
9	12月1日(金) 18:30~20:30	8	3	11	11	組織 計画	企画			
10	1月11日(木) 18:30~20:30	7	3	10	10	↓	↓	企画		
11	2月9日(金) 18:30~21:00	7	3	10	10		↓	↓		
12	3月9日(金) 予定	8	3	11	11	↓	評価	↓	↓	
合計		87	35	122	122					

1. 協議会全体の活動について

地区集会については、片瀬・江の島まちづくり協議会の活動を周知し意見をいただく機会としてはもちろんのこと、片瀬地区の地域課題を集約できる貴重な場と捉えています。

また、地区集会の持ち方については、過去の実施例から地域課題や意見を出し易くする工夫についての検討を重ねてきました。ひとつには、関心のある個別のテーマを取り上げ、その分野の活動団体、市担当部課職員や関係者にも参加をいただきながら、正しく最新の情報や実情を踏まえて議論が深められるようなプログラムとすることや、これまで実施してきたワークショップのような少人数制の分科会的な要素についても、発言し易く多様な意見が出易いスタイルとして効果があるものと評価してきました。

そこで、平成 29 年度の地区集会については、市担当部課職員による最新の取組を講義形式で行い議論を深めるプログラムでの開催や、初の試みとしてトークセッション方式を用い、雰囲気堅苦しくならないように参加しやすさに考慮した内容で開催いたしました。

この地区集会でいただいた意見や提案、新たな課題については、しっかりと受けとめ、まちづくり通信等でその内容をお知らせするとともに、協議会としても意見等の掘り下げや課題解決に向けた継続的な活動へと繋いできております。今後も、この地区集会等の機会や様々なメディアを利用した、地域課題の集約と意見のキャッチボールが大切であると認識しています。

■地区集会（3回）

2017年5月20日（土）13:30～15:30、ホール、地域住民等42人・市職員4人・協議会委員18人・事務局6人 計70人参加

テーマ①「まちづくりの活動計画について」

②「片瀬山幼稚園跡地の利活用について」

(1)まちづくりの活動計画について（H29年度活動計画の説明・意見交換）

(2)片瀬山幼稚園跡地の利活用について（市担当課による説明・質疑応答、意見交換）

2017年10月24日（火）18:30～20:20、ホール、地域住民等63人・市職員5人・協議会委員20人・事務局7人 計95人参加

テーマ「みんなで考えよう！東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 in 片瀬・江の島」

(1)オリンピック・パラリンピックに向けた情報提供について

- ・1964年オリンピック東京大会記録映像の上映
- ・東京2020大会に向けた準備状況と今後の予定について
- ・東京2020大会に向けた市民参加の取組について

1. 協議会全体の活動について

2018 年 2 月 24 日（土）13:30～15:30, ホール

テーマ「みんなで考える！片瀬・江の島の地域課題

総決算！平成 28・29 年度のまちづくり事業の活動を振り返る」

(1) トークセッション

- ・まちづくり事業の活動の振り返り
- ・来年度に向けた地域課題の掘り起こし

協議会の活動としては、市長等市理事者との意見交換も、市の考え方を知るとともに当協議会の考え方や地域の意見・課題等実情を伝えていけるととても大切な場と考えています。平成 29 年度については、次のとおり意見交換の場を持ちました。

■市理事者との意見交換会（1 回）

2017 年 4 月 21 日（金）14:30～15:20, 第 1 談話室, 委員 21 人・市側 14 人（鈴木市長・小野副市長・宮治副市長・渡辺企画政策部長・井出市民自治部長・秋山生涯学習部長・松崎東京オリンピック・パラリンピック開催準備室長・企画政策課職員・市民自治推進課職員・オリパラ準備室職員）・事務局 7 人

(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会について

2. 各部会の活動について

2. 各部会及び地域課題別検討ワーキングの活動について

これまでの組織と事業の整理により、平成 29 年度はまちづくり事業 12 事業を担う 7 部会により、各事業の推進や関連する地域課題についての検討等活動を行ってきました。

また、部会の活動分野に該当しない、若しくはひとつの部会だけでは対応が難しい地域課題については、同様に整理をする中で、平成 29 年度は 1 つの課題別検討ワーキング・グループにより、取扱いの方向性や対策等についてのワーキングを行ってきました。

まちづくり事業の推進等の活動状況については「3. まちづくり事業について」に、地域課題の検討状況については「4. 地域課題の検討について」に、それぞれまとめて記載し、ここでは各部会及び地域課題別検討ワーキングの会議の開催状況について記します。

(1) 人材・情報バンクセンター運営委員会

<担当事業> 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

<会議開催状況> 会議 5 回+講演会 1 回 延べ 61 人出席 (※見込み)

回	日時	出席人数(人)					議題等			
		委員	協力員	コーディネーター	事務局	合計	計画	広報紙	講演会	その他
1	4月11日(火) 18:30~20:30	5	1	3	3	12	振返・確認	春号		
2	7月11日(火) 18:30~20:30	6	1	3	3	13		夏号・増刊号	企画・検討	ふれあいまつり出展企画
3	10月10日(火) 18:30~20:30	6	1	2	3	12		冬号		
4	1月17日(水) 18:30~21:10	4	1	3	3	11	計画			
	1月20日(土) 10:00~12:00	6	1	3	3	13			実施	ボランティア講演会 参加者42人
5	2月 日) 予定					0				
						0				
合計		27	5	14	15	61				

(2) ボランティアセンター運営委員会

<担当事業> ボランティアセンター事業、まちかど相談事業

<会議開催状況> 会議 5 回+従事者交流会 1 回 延べ 72 人出席 (※見込み)

回	日時	出席人数(人)				議題等					
		委員	協力員	事務局	合計	計画	事業		従事者交流会	広報紙	その他
							ボランティアセンター	まちかど相談			
1	5月22日(月) 15:00~17:00	4	13	2	19	体制	進歩課題	進歩課題	報告・振返	企画	
2	9月11日(月) 15:30~17:00	4	13	3	20				企画		
3	11月14日(火) 15:00~17:00	2	10	3	15	予算					
4	1月31日(水) 15:00~17:00	4	11	3	18						
5	3月12日(火) 15:00~予定				0						
	3月20日(火) 11:00~13:00				0				開催		従事者交流会
					0						
合計		14	47	11	72						

2. 各部会の活動について

(3) 青少年健全育成部会

<担当事業> 青少年居場所事業, 小学生夏休みふれあい事業, 青少年ボランティア活動支援事業

<担当地域課題> 小学生の居場所課題

<会議開催状況> 会議 8 回 延べ 62 人出席 (※見込み)

回	日時	出席人数(人)				議題等				
		委員	協力員	事務局	合計	事業			小学生の居場所	その他
						青少年居場所	青少年ボランティア活動支援	小学生夏休みふれあい		
1	5月11日(木) 19:00~21:00	3	2	2	7	実施		企画検討	検討	
2	5月30日(火) 18:30~21:00	3	2	2	7		企画検討			
3	6月27日(火) 18:30~21:10	4	3	2	9					
4	8月4日(火) 14:00~16:30	3	2	1	6					8/5龍ノ口幼稚園ボランティア
5	8月30日(水) 18:30~21:00	5	3	2	10		振返	振返		8/18小学生夏休みふれあい事業
6	9月27日(水) 18:30~21:00	4	3	1	8					
7	11月2日(月) 18:30~20:40	4	3	1	8					
8	1月16日(火) 18:30~20:30	3	2	2	7					
					0					
合計		29	20	13	62					

(4) 公民館活用部会

<担当事業> 公民館活用事業

<会議開催状況> 会議 9 回 延べ 54 人出席 (※見込み)

回	日時	出席人数(人)				議題等			
		委員	オブザーバ	事務局	合計	計画	施設見学	抽選会	その他
1	4月21日(金) 13:00~15:00	3		3	6	振返・確認		検討	
2	5月22日(月) 10:00~11:30	3	1	3	7				
3	6月30日(金) 13:30~15:00	4		2	6				
4	7月31日(金) 13:30~15:00	3	1	3	7				
5	9月25日(月) 15:00~16:30	3	1	3	7				
6	11月15日(水) 10:00~11:30	3	1	3	7				
7	12月13日(水) 9:00~12:00	2	1	3	6		視察		
8	1月15日(月) 10:00~12:00	4	1	3	8				
9	2月19日(月) 10:00~予定				0				
					0				
合計		25	6	23	54				

2. 各部会の活動について

(5) まちづくり推進部会

<担当事業> まちかどミニベンチ設置事業, 緑と花いっぱい推進活動事業

<会議開催状況> 会議 3 回 延べ 20 人出席 (※見込み)

回	日時	出席人数(人)				議題等			
		委員	協力員	事務局	合計	計画	事業		その他
							緑と花いっぱい推進活動	まちかどミニベンチ設置	
1	6月5日(月) 10:00~11:00	3		2	5	振返・確認	支援	検討	
2	9月7日(木) 14:00~15:00	6		2	8	課外検討	↓	↓	
3	12月21日(木) 13:30~15:00	5		2	7	↓	↓	現場確認	
					0				
合計		14	0	6	20				

(6) 郷土文化推進部会

<担当事業> 民俗文化財等継承事業, 江の島道の整備事業

<会議開催状況> 会議 3 回+こま大会 2 回, 餅つき唄披露 1 回 延べ 20 人出席 (※見込み)

回	日時	出席人数(人)				議題等			
		委員	協力員	事務局	合計	計画	事業		その他
							江の島道の整備	民俗文化財等継承	
1	6月20日(火) 18:30~20:00	5	1	2	8	振返・確認	検討	支援	8/23餅つき唄披露(諏訪前軒行列大祭)
2	9月26日(木) 18:30~20:00	3	1	2	6		↓	↓	
3	1月23日(火) 10:30~11:30	3	1	2	6		↓	↓	10/14こま大会(大磯)
					0				3/4こま大会(片瀬橋町)
合計		11	3	6	20				

(7) 地域広報部会

<担当事業> 地域広報事業

<会議開催状況> 会議 1 回 延べ 8 人出席 (※見込み)

(他, 電子メールによる意見交換・校正等多数)

回	日時	出席人数(人)				議題等	
		委員	協力員	事務局	合計	まちづくり通信	その他
1	6月16日(水) 20:40~21:10	5		3	8	企画	ポータルサイトの更新
					0		
合計		5	0	3	8		

2. 各部会の活動について

(8) 郷土魅力継承等課題検討ワーキング・グループ

<担当地域課題> 郷土魅力の棚卸し, 今後の「まちおこし」の検討課題

<会議開催状況> 会議 6 回+ふれあいまつり 1 回 延べ 19 人出席

回	日時	出席人数(人)				議題等	
		委員	協力員	事務局	合計	計画	その他
1	4月10日(月) 18:30~21:00	6		3	9	方向性等検討	
2	5月8日(月) 18:30~20:30	5		5	10		ふれあいまつり展示企画
3	5月23日(火) 18:30~21:00	7		4	11		
4	7月5日(水) 18:30~21:30	5		4	9		
5	8月21日(月) 18:30~20:15	5		2	7		
	10月28日(土) 11:00~15:30	4			4		ふれあいまつり DVD上映 展示
6	11月9日(木) 18:30~20:10	5		3	8	ふれあいまつり報告	
合計		11	0	8	19		

3. まちづくり事業について

平成 28・29 年度に計画したまちづくり事業, 下記 13 事業の各々の内容や実施状況については, 次頁から記載のとおりです。※(9)は H28 年度で事業終了

- | | |
|------------------------|---------------------|
| (1) 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業 | (2) ボランティアセンター事業 |
| (3) まちかど相談事業 | (4) 青少年居場所事業 |
| (5) 小学生夏休みふれあい事業 | (6) 青少年ボランティア活動支援事業 |
| (7) 公民館活用事業 | (8) まちかどミニベンチ設置事業 |
| (9) 生活道路の安全対策事業※ | (10) 緑と花いっぱい推進活動事業 |
| (11) 民俗文化財等継承事業 | (12) 江の島道の整備事業 |
| (13) 地域広報事業 | |

<<事業名>> **片瀬地区人材・情報バンクセンター事業**

<担当部会> 人材・情報バンクセンター運営委員会

<事業の概要>

地域で行われている様々な地域活動情報、人や団体の情報などを蓄える「人材・情報バンクセンター(通称: JJBC)」(平成 24 年 3 月開設)に専属のコーディネータ 3 人を配置し、地域でボランティア活動をしたい・できる団体や人と、ボランティアを求めている団体や人を「つなぐ」ことや、地域の情報発信、新たな人材発掘など、地域の人材や情報の拠点として地域活動の推進を図りました。



<事業の実施状況>

①地域の情報収集(関係づくり)、登録者・情報の蓄積(バンク)

地域の様々な団体と積極的にコミュニケーションを図り、バンクセンターのPRや外部との関係づくりや、地域の情報収集・登録団体の増加(情報のバンク)に向けて継続的に取り組みました。まちづくり協議会の公募委員や地域団体の代表者の方々にインタビューを行い関係づくりに努めたほか、これまで登録していただいた団体や個人の方々にも改めてコンタクトをとり、登録情報の棚卸と活動状況等の把握を行い、データの更新に努めました。

【平成 29 年 12 月 31 日時点の登録実数】127 件

・「できます」登録(ボランティアできるという団体・個人の登録)

団体: 30 件 福祉関係団体による高齢者の支援、障がい者の支援など

個人: 47 件 高齢者の生活支援、話し相手、庭木の手入れ、楽器演奏など

・「おねがい」登録(ボランティアしてほしいという団体・個人の登録)

団体: 50 件 福祉施設、地域活動団体からのボランティア募集

個人: 0 件 個人からのボランティア依頼に対するコーディネートは現段階では対象としていない(ボランティア団体を紹介するのみ)

②相談対応, コーディネート

毎週火・金曜日(午前 10 時~午後 3 時)に開所し、地域活動に関する相談への対応、人と団体と情報とを結びつける業務(コーディネート)を進めてきました。

3. まちづくり事業について

【開設から平成 29 年 12 月 31 日までの対応状況】

- ・ 電話又は窓口への来所による相談対応 累計 333 件
29 年度 70 件 (24 年度 39 件, 25 年度 92 件, 26 年度 45 件, 27 年度 35 件, 28 年度 52 件)
- ・ 上記のうち、コーディネート成立件数 累計 157 件
29 年度 24 件 (24 年度 17 件, 25 年度 41 件, 26 年度 32 件, 27 年度 18 件, 28 年度 25 件)

③地域情報の発信

広報紙の発行、ウェブサイトへの掲載等により、地域活動に関する情報の発信に取り組んできました。

【情報発信の状況】

- ・ ボランティア通信「らぶらぶ片瀬」の発行：年 5 回発行
(片瀬地区の全約 8,000 世帯へ各戸配付)



事業予告や事業報告をご紹介します



裏面にボランティア情報を掲載

- ・ 片瀬地区ポータルサイトの更新：随時
(地域団体の活動も取材し、地域全体の情報を随時更新しています)

④活動参加へのきっかけ作り

地域住民を対象とした講演会など、地域ボランティア活動へ参加してもらうきっかけとなるイベントを実施しました。

ボランティア講演会

- テーマ 『東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会』に向けて！
わたしにも！あなたにも！できることはきっとある！

3. まちづくり事業について

日 時 1月20日(土) 10:00~12:00 片瀬市民センター2階ホール
概 要 『かながわ・ゆめ国体』から『東京2020大会』へ!ということ
で、『かながわ・ゆめ国体』にかかわられた、手塚明美さん(特
定非営利活動法人「藤沢市市民活動推進連絡会」副理事長/事務
局長)をファシリテーターとし、市民側のボランティア・行政側
の運営スタッフ経験者によるミニパネルディスカッションを中心
に、会場の皆さんにも会話に参加していただきながら、「東京
2020大会」に向けて、何かできることはないかな?こんなこと
ならできそうだな!等を考えるきっかけとしました。(一般参加者
42人)



〈事業の評価・予算〉

目標値 130 件 → 実績値 127 件 (※平成 29 年 12 月末時点)

※活動指標 開設からの累計登録件数

予算額 1,652,000 円 (委託料) → 執行額 1,652,000 円 (執行率 100%)

〈事業の今後の方向性〉

コーディネーターの交代があることから、地域との関係づくりを改めて行
うほか、最適化した業務計画を策定しました。年間の業務計画については、
運営委員会においてしっかりと進捗状況を把握し、必要に応じた見直しにも
取り組んでいきます。

3. まちづくり事業について

〈〈事業名〉〉 **ボランティアセンター事業**

〈担当部会〉 ボランティアセンター運営委員会

〈事業の概要〉

人と人とのつながりを広げ、支え合う地域の実現を図ることを目的に、片瀬・江の島地域の福祉活動の拠点として、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる居場所「片瀬地区ボランティアセンター（愛称 ひだまり片瀬）」（平成 22 年 1 月開設）の充実に向けた取組を実施しました。

〈事業の実施状況〉

○「居場所・ひだまり」の実施

- * 誰でも気軽に立ち寄れる居場所として、毎週月曜日～金曜日の 10～15 時に開催してきました。
（平成 30 年 1 月末時点 163 日間開催，利用者延べ 1,787 人）



○「かたせ・にこにこ広場」の実施

- * 幼児と保護者のフリースペースとして、毎月第 1 を除く木曜日 10～15 時に開催してきました。（平成 30 年 1 月末時点 34 日間開催，利用者延べ 946 人。他に、絵本の読み聞かせ等イベントを 3 回開催，利用者延べ 111 人）
- * よちよち前までの赤ちゃんとお年寄りや妊婦さんも対象に、「ねんねの赤ちゃんの日」（平成 25 年 5 月から開始）を毎月第 3 木曜日 10～11 時 30 分に開催しました。（平成 30 年 1 月末時点 10 回開催，利用者延べ 208 人）
- * 「出張にこにこ広場」として、片瀬中学校や西浜公園などに出向き、新たなふれあいスペースの創出に取り組んできました。（平成 30 年 1 月末時点 4 回，利用者延べ 64 人）



「通常のにこにこの様子」



「出張にこにこ広場」クリスマス会

3. まちづくり事業について

○機関紙「ひだまり片瀬通信」の発行について ※平成 25 年度～実施

* 平成 29 年度は夏号(7月)及び春号(3月)を発行し、にこにこ広場等各種事業やミニ講座の予定などについてご紹介してきました。



○「従事者交流会」の実施

* ひだまり片瀬に従事するボランティアスタッフの交流会を実施いたしました。
2018年3月20日(火) 11:00~13:00
市民センター・ホール
※予定(写真は昨年度の様子)



<事業の評価・予算>

目標値 2,000 人 → 平成 29 年度実績値 2,844 人(※平成 29 年 12 月末時点)
※活動指標 居場所ひだまり利用者数(年間)
予算 まちづくり事業 0 円 ※市の地区ボランティアセンター運営費助成金で運営

<事業の今後の方向性>

○今後も継続して事業に取り組み、赤ちゃんから高齢者までが気軽にふれあえる居場所づくりを進めていきます。また、高齢者がさらに利用しやすくなるよう、様々な工夫を検討してまいります。

市の「地域の縁側(交流スペース)事業」の指定を受けています！
平成 26 年 10 月 1 日、住民同士のつながりや絆を大切にしながら人の和を広げ、互いの暮らしを協力して支え合う仕組みとして藤沢市の「地域の縁側」事業がスタートするときに、ひだまり片瀬はモデル事業として市から指定を受けました。この指定に伴い、AED の設置や「いきいきパートナー事業」の受入施設としても認定され、見守りボランティアのスタッフに対してポイントが付与されるなど、ひだまり片瀬の運営について一層の充実を図ることができるようになりました。

3. まちづくり事業について

<<事業名>> **まちかど相談事業**

<担当部会> ボランティアセンター運営委員会

<事業の概要>

子育て・思春期・老後・介護などに関する相談を行政窓口より身近な地域の居場所を活用し、地域包括支援センター・在宅介護支援センター・地域ボランティア・専門資格を持つ臨床心理士等の連携によって実施しました。

<事業の実施状況>

- 活動場所 … * 片瀬地区ボランティアセンター「ひだまり片瀬」
- 子育て相談 … * 第 1 除く木曜日、臨床心理士による乳幼児から思春期までの子育てに関する相談を実施しました。(平成 29 年 12 月末時点相談件数 58 件)
- 高齢者相談 … * 毎週水曜日、鶴生園在宅介護支援センター、藤沢市片瀬地域包括支援センターの相談員による介護保険制度や日常生活・健康などに関する相談を実施しました。(平成 29 年 12 月末時点相談件数 23 件)
* 毎月第 3 水曜日には、上記相談事業に併せて、鶴生園在宅介護支援センター、藤沢市片瀬地域包括支援センターの相談員による健康法についての話や体操など様々な内容のミニ講座を実施しました。(平成 29 年 12 月末時点参加者 92 人)
- 成年後見相談 … * 毎月第 2 月曜日、社会福祉士により、判断力に難しさがある方についての相談を実施しました。(平成 29 年 12 月末時点相談件数 17 件)



<事業の評価・予算>

目標相談件数 100 件 → 実績件数 98 件 (※平成 29 年 12 月末時点)

予算額 196,000 円(補助金) → 執行額 190,800 円 (執行率 97.3%)

内訳：臨床心理士(子育て相談員)への謝礼

<事業の今後の方向性>

○今後も身近な相談場所として多くの方々に利用してもらえるよう PR を行いながら、継続して事業を進めていきます。

3. まちづくり事業について

<<事業名>> **青少年居場所事業**

<担当部会> 青少年健全育成部会（片瀬地区青少年居場所事業運営委員会）

<事業の概要>

青少年サポーター養成講座を受講したサポーターが、片瀬しおさいセンター（片瀬公民館分館）のふれあいルーム（オープンスペース）に立ち寄る青少年への見守り・声かけを通しながら思春期の青少年と関わる居場所事業を実施し、次世代育成と地域コミュニティづくりを進めてきました。

<事業の実施状況>

毎週金曜日、17時から21時に活動しました。

◎青少年サポーター研修会 9月

◎ふれあいまつり（居場所事業紹介パネル作成展示） 10月



<事業の評価・予算>

目標値 52 回 → 実績値 36 回（※平成 29 年 12 月末時点）

※活動指標 居場所開催回数（年間）

予算額 408,000 円（謝礼等）→ 執行見込み額 408,000 円

<事業の今後の方向性>

今後も内容の改善を図りながら、声かけや相談に乗るなど、青少年を見守る活動を継続します。

3. まちづくり事業について

＜＜事業名＞＞ **小学生ふれあい事業**

＜担当部会＞ 青少年健全育成部会

＜事業の概要＞

地域の小学生を対象に、宿題などの自習を支援し自学自習の意欲を育てる目的で、学習教室事業を実施しました。

＜事業の実施状況＞

①おもしろ工作教室

【日時】2017年8月18日（金）

9：30～12：30

【場所】片瀬しおさいセンター
工芸室及び体育室

【内容】工作用紙でレーシングカーを作り、
体育室で実際に走らせる。

【参加対象者】小学3～6年生

【参加人数】18名



②夏休み☆自習塾

【日時】2017年8月18日（金）13：30～15：00

【場所】片瀬しおさいセンター工芸室及び体育室

【内容】小学生の夏休みの宿題や学習を支援する。

【参加対象者】小学生 【参加人数】8名



＜事業の評価・予算＞

目標値 25 人 → 実績値 26 人（2日間延べ人数）

※活動指標 参加人数

予算額 46,000 円（謝礼等） → 執行額 26,187 円（執行率 56.9%）

＜事業の今後の方向性＞

地域が見守りながら学習に関わることで、学力向上の一助となることができた。今後は「小学生の居場所課題（子どもの放課後の居場所について）」と併せた形での事業実施を検討します。

＜＜事業名＞＞ **青少年ボランティア活動支援事業**

＜担当部会＞ 青少年健全育成部会

＜事業の概要＞

社会貢献を通して喜びを感じられたり、地域の方との絆を深めていく機会があることで青少年の成長を促すことを目的に、地域で実施されるイベント等事業の主催者等と調整し、地元青少年のためにボランティア活動の場を提供しました。

＜事業の実施状況＞

龍の口竹灯籠^{たけとうろう}（8月5日）のボランティア活動支援を行った。片瀬中学校の生徒6人がボランティアとして参加した。地域ボランティアの方々と一緒に、竹灯籠の設置やろうそく点火など行った。

＜事業の評価・予算＞

目標値1回 → 実績値1回 ※活動指標 提供できた活動・イベント数
予算 なし

＜事業の今後の方向性＞

今年度をもって事業終了とし、他事業においてボランティア参加の場を検討します。



<<事業名>> **公民館活用事業**

<担当部会> 公民館活用部会

<事業の概要>

当部会では、市設置の公民館評議員会が公民館の運営・事業について意見や評価等を行うことに対して、公民館活用における課題を把握・検討し、行政への提言、まちづくりとしての事業企画等を検討しました。

<事業の実施状況>

公民館の更なる利便性の向上を図るため、インターネットによる抽選を含め、将来的な公民館の会場申請の実施方法についての検討を行いました。年間計9回の部会を開催するとともに、茅ヶ崎市の公民館の施設見学を実施しました。

◎施設見学

・12月13日に茅ヶ崎市松林公民館の視察を実施し、インターネット抽選導入時の状況や問題点などを確認しました。

◎インターネット抽選導入に関する検討

・28年度に実施した公民館利用時の抽選会に関するアンケート調査の結果について活用方法を検討しました。
・インターネット抽選を導入した際のメリット・デメリットを検討し、あわせて対面式抽選のメリット・デメリットについても検討しました。

◎その他

・インターネットによる抽選を含め、将来的な公民館の会場申請のあり方についての検討会等の設置について、市関係課に対して要望を行うことを検討しました。

<事業の評価・予算>

目標値 設定無し → 実績 上記実施状況のとおり, 予算 無し

<事業の今後の方向性>

今後も、公民館活用に於ける課題の把握・検討、行政への提言、片瀬・江の島まちづくり協議会としての事業企画・実施等を検討します。

3. まちづくり事業について

<<事業名>> **まちかどミニベンチ設置事業**

<担当部会> まちづくり推進部会

<事業の概要>

買い物や散歩途中でちょっとひと休みやおしゃべりのできる場として、腰かけやベンチを遊休地・緑地など区内のスペースに設置し、ふれあいのある、やさしいまちづくりを目指してきました。

<事業の実施状況>

○ミニベンチ(腰掛け)を設置する候補地の選定、土地所有者との折衝、設置するベンチの検討などを行い、設置の実現に取り組みました。

【平成 28 年度までの設置箇所】

- ①片瀬小学校校庭脇⇒「江の島道の整備事業」の一環として整備
- ②やまかストア江の島店⇒店舗側と調整し、入口前のスペースに設置
- ③モノレール湘南江の島駅⇒事業者に要望し、事業者が駅舎 2 階フロアに設置
- ④片瀬三丁目緑の広場⇒町内会と調整し、入口付近に設置
- ⑤境川右岸公園管理地(白百合小学校付近)
⇒市及び町内会と調整し、川沿いの歩道スペースに設置
- ⑥片瀬山一丁目地内(市道片瀬 129 号線の道路用地内)
⇒近隣住民と調整し、坂途中に設置
- ⑦片瀬山北公園⇒公園愛護会と調整し、公園南西側に設置
- ⑧モノレール目白山下駅前⇒事業者と調整し、駅舎降りた北側に設置
- ⑨片瀬二丁目・片瀬山五丁目間の南階段⇒道路管理者と調整し、階段途中に設置

【平成 29 年度設置箇所】

- ⑩片瀬通り公園
⇒公園管理者と調整し、擁壁部分に設置



<事業の評価・予算>

目標値 9 箇所 → 実績値 10 箇所

※活動指標 ミニベンチの設置箇所数(累計)

予算額 100,000 円(消耗品費) → 執行額 84,240 円(執行率 84.2%)

<事業の今後の方向性>

○当初目標値を超え、設置可能な候補地については全て設置できたことから、今年度をもって事業を終了します。

3. まちづくり事業について

<<事業名>> **生活道路の安全向上対策事業** ※H28 年度事業終了

<担当部会> まちづくり推進部会

<事業の概要>

生活道路の危険と思われる箇所について、注意喚起のための交差点カラー舗装，カーブミラー設置，スコッチシール設置等の実施や通学路で外側線による区切りしかない歩道にカラー舗装（グリーンベルト）を実施してきました。

<事業の実施状況>

【平成 27 年度までの実施状況】

通学道路の危険箇所を絞って、自治町内会から提供された情報をもとに現場を確認し、スコッチシール設置による注意喚起，交差点のカラー舗装の実施（片瀬小学校前・片瀬 4 丁目 8 付近），駐車禁止ポールの設置（片瀬地区ボランティアセンター向かい），グリーンベルトの設置（山本橋から国道 467 号線まで，西浜橋から小田急線踏切までと江ノ電湘南海岸公園駅前踏切まで，片瀬小学校校門北側から旧郵便局前まで，片瀬小学校校門以北から新屋敷橋前），警察への要望など安全対策を施しました。

【平成 28 年度実施】

通学道路の安全向上対策として，グリーンベルトの設置について，片瀬 63 号線（諏訪神社側交差点から南西方向に約 50m），片瀬 73 号線（杉本医院から八百福まで），片瀬 275 号線（国道 467 号線から角田酒店まで）を行いました。

グリーンベルト施工後
（左）片瀬 73 号線
（右）片瀬 275 号線



<事業の評価・予算>

目標値 3 箇所 → 実績値 3 箇所 ※活動指標 安全対策実施箇所数（年間）
予算額 945,000 円（施設修繕費）→ 執行額 945,000 円（執行率 100.0%）

<事業の今後の方向性>

当初予定していた通学道路の危険箇所について，工事可能な箇所については全て完了したことから目的は達成できたものと考え，事業を終了します。今後，同様の要望が挙げられる場合は，市役所の担当課に対して働きかけを行います。

<<事業名>> **緑と花いっぱい推進活動事業**

<担当部会> まちづくり推進部会

<事業の概要>

全国でも有数の観光地である片瀬・江の島地域としてふさわしい景観確保等のため、地域ボランティアを募り、花植え・草取りを定期的実施する体制を築きました。

<事業の実施状況>

江の島弁天橋において年 2 回(6 月, 11 月頃)の花の植替え, 定期的な水遣り, 草取りを行っている「弁天橋花いっぱい愛好会」に対して, 活動の支援を行いました。花の植え替えには「片瀬地区子ども会連絡会」も参加し, 世代を超えた地域内の取組となっています。

<事業の評価・予算>

目標値 100 m² → 実績値 120 m² ※活動指標 花植え活動等実施面積(累計)

予算額 40,000 円(苗等消耗品費) → 執行額 39,484 円(執行率 98.7%)

予算額 12,000 円(上水道代) → 執行見込み額 9,198 円

<事業の今後の方向性>

「弁天橋花いっぱい愛好会」が創立から 9 年経過し, 会員が活動を維持することが困難になってきており, 今後の方向性については, 愛好会の意向を尊重すると共に, 引き続き, 活動に必要な支援を実施して参ります。



春の植替えの様子



枯れた花を取り除く様子

3. まちづくり事業について

<<事業名>> **民俗文化財等継承事業**

<担当部会> 郷土文化推進部会

<事業の概要>

市無形民俗文化財に指定されている「片瀬餅つき唄」や伝統を誇る「片瀬こま」、その他、片瀬地区にゆかりのある文化財の継承・発展を支援しました。

<事業の実施状況>

○片瀬餅つき唄の活動を支援し、8月26日の諏訪神社例大祭において披露しました。

○片瀬こまの活動を支援し、こま大会を4月29日、10月14日には鳴立庵（大磯町）にて、また、3月4日には片瀬漁港で実施しました。

この他、市内小学校等で片瀬こまの体験授業を実施しました。



(片瀬餅つき唄の披露)



(片瀬こま大会)

<事業の今後の方向性>

片瀬地区にゆかりのある文化財の継承・発展のために活動支援をしていきます。

3. まちづくり事業について

〈〈事業名〉〉 **江の島道の整備事業**

〈担当部会〉 郷土文化推進部会

〈事業の概要〉

旧江の島道を歴史探訪の道として整備を進めてきました。

〈事業の実施状況〉

【平成 28 年度までの実施状況】

片瀬小学校前の道祖神及び杉山検校道標, 旧郵便局前の杉山検校道標, 市民センター向かいの西行戻り松道標, 片瀬 3 丁目まちかど公園内に当時の様子を描いた絵巻物看板設置, 常蓮橋たもと庚申塔, 片小前の杉山検校道標, 大源太公園内に杉山検校道標の計 8 ヶ所を整備しました。

【平成 29 年度の実施状況】

片瀬小学校前の道祖神を囲う竹垣が経年劣化したため, 強化プラスチック製の竹垣に付け替える工事を行いました。



〈施工前〉



〈施工後〉

〈事業の評価・予算〉

目標値 15 箇所 → 実績値 8 箇所 ※活動指標 史跡の整備箇所数 (累積)

予算額 750,000 円 (施設修繕費) → 執行額 724,680 円

〈事業の今後の方向性〉

整備に関しては平成 30 年度で一定程度が完了する予定のため, 今後は他団体と協力体制を築きながら, 新しい整備事業の方向性の検討を進めます。

3. まちづくり事業について

<<事業名>> **地域広報事業**

<担当部会> 地域広報部会

<事業の概要>

① **広報紙『片瀬・江の島まちづくり通信』の発行**

片瀬・江の島まちづくり協議会や地域団体等の活動を地域のみなさまに知っていただくことを目的に、全戸配付の広報紙を年 5 回発行しました。

② **片瀬地区ポータルサイトの充実**

片瀬地区の地域情報を広く発信するウェブサイト(2011 年 4 月設置)を充実し、情報発信の輪を拡げました。 URL: <http://fujisawa-katase.ecom-plat.jp/>

③ **地域情報の整理と共有の促進**

地域情報を集約・整理し、共有化と活用を図るため、ポータルサイト「片瀬・江の島地域情報特集ページ」を活用し、イベント情報のオープンデータ化を進めました。

<事業の実施状況>

① まちづくり通信を発行し、協議会の最新情報や地域団体の紹介を行いました。

- 第 26 号 2017 年 5 月 10 日発行 (第 1 回地区集会周知特集, 今年度計画)
- 第 27 号 2017 年 7 月 25 日発行 (第 1 回地区集会報告特集)
- 第 28 号 2017 年 10 月 10 日発行 (地域団体紹介特集)
- 第 29 号 2017 年 12 月 10 日発行 (第 2 回地区集会報告特集)
- 第 30 号 2018 年 3 月 25 日発行 (第 3 回地区集会報告特集)
- 第 31 号 2018 年 4 月 5 日発行 (H29 年度活動報告)

[発行広報紙 片瀬・江の島まちづくり通信のイメージ] A3 版中折り, A4



第 26 号



第 28 号



第 29 号

3. まちづくり事業について

② ポータルサイトを活用して地域の情報を広く発信しました。

[ポータルサイトのイメージ]



※主な掲載内容

- 片瀬・江の島トピックス（片瀬市民センターからのお知らせ）
- 片瀬・江の島まちづくり協議会 最新情報
- 片瀬・江の島地域団体 最新情報
- 片瀬公民館 最新情報
- 人材・情報バンクセンター 最新情報
- ひだまり片瀬&安全・安心ステーション 最新情報
- 地域で活動する団体等の最新情報
- 片瀬・江の島地域情報特集ページから

③ ポータルサイト「片瀬・江の島地域情報特集ページ」を活用し、イベント情報のオープンデータ化を進めました。

〈事業の評価・予算〉

目標値 4 回 → 実績値 5 回 ※活動指標 広報紙の発行回数（年間）
 予算額 224,000 円（印刷製本費）→ 執行見込み額 160,000 円
 ※まちづくり通信の発行経費（郷土づくり推進会議費 カラー版外注印刷代）

〈事業の今後の方向性〉

まちづくり通信の編集作業、また、各部会について横断的に情報の収集・発信を行うことが求められることから、事業の効率化を図るため、平成 30 年度からは役員会が本事業の性質を取り扱う事としました。

4. 地域課題の検討について

<<地域課題>>

ごみの持ち帰り，ポイ捨て禁止キャンペーン等の検討課題

※H28 年度検討終了

<担当ワーキング> 環境課題検討ワーキング

<課題の概要と経緯>

片瀬・江の島地域内のごみの持ち帰りやポイ捨て防止等について，キャンペーン等を実施し啓発を行うとともに，実効性ある手法について協議・検討していくものです。

【平成 23～24 年度】

環境美化推進部会が，まちづくり事業（環境浄化事業）を実施しました。

○落書き消し事業： 片瀬地区生活環境協議会の活動に協力し，落書き消しに参加しました。一定の成果があったため，平成 25 年度以降はまちづくり事業の対象外としました。

○壁画事業： 片瀬中学校美術部の協力によりパネルに描いた壁画を，弁天橋遊歩道から東浜へ抜ける地下道に設置することで，きれいな景観を保つ計画を実行してきました。平成 24 年度で壁画は完成し，まちづくり事業としては終了しました。

【平成 25 年度】

地域団体の意見から，公民館オープンスペースの利用上のごみのマナーや，まちなかでのごみのポイ捨て等が，地域課題として注目されてきたことを把握しました。

【平成 26 年度】

各地域団体にも協力をいただきながら，子どもから高齢者までの様々な層や様々な分野を通じて，ごみのポイ捨て等課題の解決に向けた協議・検討を行うため，協議会内に検討ワーキングを設置し，検討を進めてきました。

また，地区集会ワークショップの一テーマとして取り上げ，参加者との意見交換を行ってきました。ゴミやタバコのポイ捨てについては，家庭ゴミの出し方，コンビニのゴミ箱，観光客対策についての議論があり，ゴミ拾い活動をしている団体や人の紹介等による啓発のアイデアが出ました。

また，犬のフンの放置についても議論が盛り上がり，ペットショップでの飼い主に対してマナー注意喚起，保健所での登録の際の指導，不動産業者の窓口

4. 地域課題の検討について

や転入時の市役所窓口でのマナー冊子配付など、具体的な対応策についての様々な提案・意見をいただきました。

これらのご意見を踏まえ、今後のワーキングにおいて、保健所へ視察研修を行い、生活とどのように保健所が関わりあるのか、環境衛生向上のためにどのような取組をしているのかを知り、片瀬地区の環境衛生向上活動に活かすことといたしました。

【平成 27 年度】

これまでの活動を踏まえ、保健所への視察及び意見交換を行いました。

保健所への視察で、犬の飼い始めから死後までに行うべき届出が数多くあることやフン持ち帰りの啓発チラシがあることを確認できたが、犬のマナー・飼い方冊子（飼い主のためのガイドブック）がないため、飼い犬に対して何をすべきかわからず、愛犬精神を持つことができないのではないかと考えました。そこで、ガイドブックを作成・配布し、飼い主に飼い犬に対して行うべきこと・届出を認識してもらい愛犬精神を持ってもらうことにより、犬のフンを持ち帰ってもらう方策として進めることとし、検討を進めてきました。

また、独自の犬のフン持ち帰りポスターや啓発プレートを作成し、プレートについては、ふれあいまつり等で配付しアンケートへの協力をお願いしてきました。アンケート結果を踏まえて、今後の対策を検討してまいります。

〈課題の検討状況〉

【平成 28 年度】

引き続き検討ワーキングを設置し、次のとおり検討を進めてきました。

◎メンバー（7人） 村越（座長）・高木・島田・齋藤・岡田・福島各委員，
三嘴協力員

◎ワーキング実施状況（会議開催はP. 9参照）

昨年度の活動結果を受けて、4月に片瀬地区内で行われる狂犬病予防接種において、飼い主に対して犬のフン放置が多く見られる場所についてアンケート調査を行いました。

その結果を受けて、9月には多く見られる場所にはフンの持ち帰り等を促す張り紙を防犯灯等に張り付けるとともに、地区内の公園にも飼い主のマナーを喚起させる看板を設置しました。また、片瀬地区生活環境協議会の生活環境会議において、各自治町内会の環境部長にも公園に設置したものと同様の看板を提供しました。そして、張り紙・看板ともふれあいまつりにおいて希望者に配布しました。

4. 地域課題の検討について



張り紙

看板

ガイドブック

また、昨年度のワーキングにて重要性が認識されていたガイドブックの作成についても検討を進め、犬や猫を飼うときの「こんなときどうする?」をまとめたガイドブックを作成し、2月に地区内に全戸配布しました。

〈今後の方向性〉

1月のワーキングにおいて、挙げられた課題について検討及び活動を全て行ったとの結論に達したため、平成28年度を持って活動を終了しました。

〈〈地域課題〉〉 小学生の居場所課題

〈担当部会〉 青少年健全育成部会

〈課題の概要と経緯〉

平成26年度第2回地区集会のワークショップにおいて公民館の活用についての意見交換を行う中で、子どもたち、特に小学生の居場所についての課題が浮き彫りになりました。そこで、協議会では地域の課題として位置づけ、課題の担い手や取り扱いの方向性について検討を行ってきました。

【平成26年度】

片瀬しおさいセンターで起きた器物破損問題については、市が実態把握をし管理体制を強化しましたが、これはゲーム機や食べ物の持ち込みをできない施設が多くなり、多数の小学生が公民館のオープンスペースに集まるようになったことによる利用マナーの問題であり、市と学校が相談し、学校は今

4. 地域課題の検討について

後も児童に注意をし、市はルールに基づく対応をすることとしました。

協議会としては、青少年関連の団体選出委員により、学校関係者やPTAを含めた話し合いから始め、実情の把握と地域団体の関わり等を検討した。

①1月7日（火）子ども居場所課題の整理（波多・三觜・長坂各委員）

②1月13日（火）PTAの意見聴取（青少年育成協力会企画会）

③1月21日（水）今後の進め方について（青少年健全育成部会）

④3月6日（金）小学生の放課後の過ごし方の現状把握と情報交換
出席 28 人（委員 3, 片小教頭, 児童クラブ 2, 片瀬学園, 子どもの家 5, 青少協 2, 片子連 5, 片小 PTA3, 事務局 3）

⑤3月17日（火）情報交換会のまとめと今後の進め方について（部会）

以上の検討を踏まえ、青少年健全育成部会が窓口となり、関係者と情報共有する場を継続して設けていくとともに、現状の子どもの様子を直接見るなどで把握しながら検討を進めていくこととしました。

【平成 27 年度】

しおさいセンターふれあいルームを見学し、実態を把握したうえで、対策を検討しました。その結果、片瀬小学校とも相談をしながら、公民館利用マナーに関するポスターを小学校で募集依頼し、作品をふれあいルームに掲示しました。中学校にも校長をはじめとする巡回等のご協力により、公民館の利用については落ち着きを取り戻してきました。

また、平成 27 年度第 1 回地区集会のメインテーマとし、市長を迎えて地域の皆さんとの意見交換の場としました。いただいたご意見を踏まえ、片瀬地区の子どもたちの居場所や放課後対策等について、部会として継続検討していくこととしました。

【平成 28 年度】

片瀬小学校の児童・保護者の皆様にご協力いただき、小学生の下校後の遊び場に関するアンケートを実施しました。その後、10月に開催した平成28年度第2回地区集会にて、アンケート結果も踏まえて市長・関係課との意見交換会を実施しました。

部会ではこれらの結果を受けて、視察や研究を行い、「子どもの放課後の居場所について」と「ボール遊びができる場のあり方について」の二つを検討課題とし、検討を進めていくこととしました。

〈課題の検討状況〉

【平成 29 年度】

[子どもの放課後の居場所について]

ニーズの再調査をするため、浪合市民の家や片瀬しおさいセンターを利用し

4. 地域課題の検討について

での検証事業等について検討をしました。また、子どもが集うという部分で共通点がある「小学生ふれあい事業」と併せた形で研究を進めることとしました。

[ボール遊びができる場のあり方について]

ボール遊びができる場の情報を周知するため、片瀬小学校にご協力いただき、第1・3・5土曜日（午前中）の校庭開放について、「片瀬小だより」への掲載及び看板を設置していただきました。公園や緑の広場でのボール遊びについては、前年度の視察結果や市担当課からの聞き取り結果を基に検討を行いました。必要な協力者の確保やハード整備等の点から、実現は困難であるとの結論となりました。

〈今後の方向性〉

課題の解決に向け、「子どもの放課後の居場所について」と「小学生ふれあい事業」を併せた形での検証事業等を検討していきます。

〈〈地域課題〉〉

郷土魅力の検討課題

〈担当ワーキング〉 郷土魅力課題検討ワーキング

〈課題の概要と経緯〉

2020年の東京オリンピック・パラリンピックのセーリング競技会場となる地元地域として、この機会に郷土の魅力や特色を棚卸して来訪者や転入者も含めた次世代への継承に関わる事業を実施することにより、地域活性や新たなコミュニティの醸成につながると考え、郷土魅力等継承課題として地域課題に位置づけ、担い手や手法を検討していくものです。

【平成 27 年度】

2016年2月27日（土）に開催しました、平成27年度第2回地区集会にて「400年の蔵出しワークショップ 片瀬・江の島マニア大集合！郷土魅力をとことん語り合おう」と題し、郷土魅力をとことん話し合うための、小グループのワークショップを実施しました（74人参加）。

【平成 28 年度】

2016年3月～10月全体会にて、ワークショップでの意見や情報の整理及び取り扱いの方向性を検討した結果、担い手として課題別検討WGを新設し、各

4. 地域課題の検討について

部会からメンバーを選出して具体的な検討を進めることとしました。

- ◎メンバー（9人） JJBC・中川委員，ボラセン・田村委員，青少年・石倉委員，
公民館・岡田委員，まちづくり・高木委員，郷土・阿井委員・
常泉委員・金子協力員，広報・川嶋委員

〈課題の検討状況〉

【平成 29 年度】

片瀬の歴史を含めた魅力の発掘・収集、そして継承という観点で、各委員が具体的なアイデアを出しながら課題に対する検討を進め、①片瀬江の島の風物を収集・整理すること、②オリンピックに向けた五頭竜ページの復活という二つの方向性をまとめました。

これら二つの方向性について具体的にどのように進めるかを検討する中で、①の片瀬の風物誌については、子どもが昔のことを知る方々にインタビューするという形式で風物を収集するという案が出ましたが、子どもが面識のない高齢者にインタビューすることは難しく、学校や大人のサポートが相当必要であり、実現可能性が低いという結論に至りました。

②については、片瀬の魅力をアピールする目的でふれあいまつりに五頭竜伝説の紹介ブースを設置することを検討しました。その過程で、公民館の倉庫から昭和 14 年、57 年の記録映像が見つかり、DVDに復元することができました。また、地域の方々のご協力により当時の新聞記事や写真等をお借りすることもできました。ふれあいまつりでは、映像の上映及び解説、資料の展示を委員により実施し、懐かしい映像や貴重な資料を公開することができ、非常に好評でした。

また、並行してページント復活の検討もしましたが、オリンピックに向けて誰がどうやって開催するのか、膨大な予算も必要なため、官民を挙げた強力な推進組織がなければ実現不可能でないか、ページントを実現できたとして地元住民にどんなメリットがあるのか、との疑問が呈され、課題検討ワーキングの範疇を超えているとの指摘がありました。

- ◎メンバー（8人） JJBC・中川委員，ボラセン・田村委員，青少年・石倉委員，
公民館・岡田委員，まちづくり・高木委員，郷土・阿井委員・
金子協力員，広報・川嶋委員

〈今後の方向性〉

過去に五頭竜ページントやパレードが行われたことは、片瀬江の島地区と

4. 地域課題の検討について

して最も重要な風物誌の一つで、これまで埋もれていた貴重な資料を発掘することもできたので、ワーキングの活動としては、単なる課題検討に留まらず一定の実践まで実現したと総括いたしました。そして、その成果をふれあいまつりで発表したことをもって、ワーキングの活動は終了といたします。

5. まちづくり地区集会について

平成 29 年度に開催したまちづくり地区集会について、結果の概要及び今後の方向性を紹介します。なお、配付した資料については、一部を資料集に掲載していますので、併せてご覧ください。

<<平成 29 年度第 1 回>>

日 時 2017 年 5 月 20 日（土） 13 時 30 分開会～15 時 30 分閉会（120 分間）

会 場 片瀬市民センター 2 階 ホール

出席者 70 人（市民 42 人，委員 18 人，関係課市職員 4 人，事務局 4 人）

内 容

－ 1 開 会 （司会 徳江副会長）

－ 2 会長挨拶（長谷川会長）

－ 3 議 題

（1）まちづくりの活動計画について

協議会活動報告

意見交換

（2）片瀬山幼稚園跡地の利活用について

市民自治推進課から片瀬山幼稚園跡地の利活用について説明

質疑応答・意見交換

－ 4 その他

意見概要

議題（2）片瀬山幼稚園跡地の利活用について主な意見

■現在の片瀬山市民の家利用者は 95%が片瀬山の住民である。その実情を理解してほしい。敷地が 1,300㎡もあるのだから、高齢者・防災対策の目的があり、100名規模の大会議室があるような新しい複合施設を希望する。敷地全てを使えないのであれば、今の場所を変える必要はない。利用者の中心である、片瀬山の住民の意見を聞いて、提示された案は白紙で受ける。片瀬山住民の意見を聞いて再検討してほしい。

市民自治推進課：本日お示した案は市長・副市長調整済みなので今の案ではこういう形で進めていきたい。防災機能に関しては面積を増やすことはできるが、市民の家は防災拠点とはなりえない。また、利用者の 95%が片瀬山の住民である、ということは良いことか悪いことか、一概には言えないのではないかと（「事実を説明しているだけです」という声あり）。

■いつ災害が来るのかは判らない。平時は複合施設として使え、非常時は防災・避

5. まちづくり地区集会について

難施設となるようなものを作って欲しい。また、二分の一売却ではなく、全て使って欲しい。

市民自治推進課：二分の一売却は決定事項ではなく、財政が許すのであれば他の施設を考える。

- 避難施設機能込みの複合施設を作って、観光客でも使えるようなものがほしい。
- 他の方の意見に賛成である。利用者は片瀬山の住民が中心である。敷地を最大限に使って欲しい。検討委員会に若い視点を入れるのは将来的に良いことと考える。
- 3箇所の市民の家（江の島，浪合）の立ち位置を考えて欲しい。片瀬地区にどういった市民の家のビジョンを設けるか、そして、それぞれのビジョンが、どの地域にどういう特色を持たせるのか、そういう互換性というか、関連性を持った中で片瀬山市民の家を考えていただきたい。

市民自治推進課：それぞれの市民の家はそれぞれに立場がある。個別に検討する必要があり、互換性については、現状検討していない。

- 二分の一売却は将来的なと言っているが、資料を見れば売る前提ではないか。取り消した方が良く。公募委員の女性は三分の一に限定するべきではないと思う。
市民自治推進課：二分の一についても必要であれば活用するものである。売るの他に選択肢が無い、最終手段である。女性三分の一は、最低三分の一、ということである。
- 土地全て活用する話で聞いていた。もともと半分の土地を売るとは聞いていない。
- 要望書を提出したのは、防災機能の強化が前提である。片瀬中学校の備蓄量は少なく、補完する目的で市民の家を活用して欲しい、ということだ。受け入れ機能をもっと増やすと共に市民の家の地下には備蓄倉庫を設けることを配慮して欲しい。
- 始めから二分の一を売却する、というのに驚いた。夢のある複合施設を作ろうと思っていた。こんなに夢のない話有るか。もう一度、1, 300㎡の土地活用を検討して欲しい。
- どの市民の家も片瀬地区全体のものと思っていたが、片瀬山限定の話になっている。他地区の人間も参加できるものではないのか。また、中高生の居場所は地区内になく、彼らを委員に加えて、彼らの声を聞いて欲しい。
- 私たちが言いたいのは1, 300㎡あれば、高齢者・子ども・防災といった地域の課題を反映できるということ。最初から半分では夢も半分になる。そういった施設ができれば、ほかの地区からもぜひ来て欲しいと思っている。
- 青少年の居場所に関しては、しおさいセンターにある。子どもは数字上減っているが、気持ちの面では増えている。乳幼児保護者の気持ちを考えた施設を。
- 公募委員に興味を持っている。片瀬山1丁目でも子どもが増えてきている。今日の説明は夢がなかった。

5. まちづくり地区集会について

- 海岸側は災害時に逃げられる施設がなく、片瀬中学校以外に、片瀬山にそういった施設ができれば、海岸沿いの住民も安心できる。市は市民の意見を聞いて欲しい。
- 利活用の一案として、片瀬中学校のテニス部に跡地をコートとして使わせて欲しい。
- 海岸に近いところに子どもの居場所がない。二分の一売却するのであれば、その資金をぜひそういったことに使って欲しい。

(市民自治推進課総括) 二分の一売却が本日の大きな論点になったと思う、この部分については一定程度、市の考え方をお示ししたが、今日は宿題としたい。売却益を他に使うのはアイデアとしておもしろいと思う。もしそういう方向性ができれば、片瀬山の方にもご協力をいただく場面が出てくると思う。本日の意見は整理し、理事者にも報告させていただきたいと思う。

総括

片瀬・江の島まちづくり協議会の活動については、公募委員の任期2年間で一つの活動スパンと捉え、1年ごとにPDCAサイクルを進めています。公募任期の2年目となる平成29年度については、第1、第2ステージを、「まちづくり活動の推進」、第3ステージを、「活動評価と次期の計画への反映」とし、それぞれのステージの中で片瀬地区全体を対象とした市民集会である「まちづくり地区集会」を開催し、地域の皆さんとの意見交換を行います。

このたびの地区集会を開催するにあたりましては、平成29年度活動計画の周知と地域課題の検討・集約を目的に、第1部では「平成29年度のまちづくり活動計画」をテーマに、まちづくり協議会の7部会1WGで取り組む各事業の説明を行いました。第2部では、平成29年3月に閉園した片瀬山幼稚園の土地を市が取得し、片瀬山市民の家の再整備等の事業用地とする計画があることから、「片瀬山幼稚園跡地の利活用について」をテーマとし、新しい施設を建設するまでの事業用地の利活用と、新しい施設の建設計画について、市担当課である市民自治推進課から説明を受けると同時に、片瀬地区住民の皆様と一緒に考えていく場として開催いたしました。

開催手法につきましては、前述の開催趣旨のとおり、市担当課職員による市の取組状況をしっかりと周知するため、これまでの地区集会で実施することの多かったグループトーク形式を用いず、講義形式を採用することとしました。

また、当日の議論等が深まるように、当日の説明資料である「平成29年度活動計画」と、「片瀬山幼稚園跡地の利活用について（パワーポイント資料）」を希望者に対し事前配布いたしました。

参加者アンケートでは、片瀬山幼稚園の利活用についての説明時間（実際の説明時間は約35分）について、「ちょうどよい」と回答している方が41%と一番多く、「長い」

5. まちづくり地区集会について

が18%、「短い」が14%で、質疑応答・意見交換時間（実際の質疑応答等時間は約50分）について、「ちょうどよい」と回答している方が41%と一番多く、「長い」が9%、「短い」が5%と回答しています。この結果を見ると、説明時間及び質疑応答・意見交換時間ともに概ね適切であったと思われます。今後、同様の手法で地区集会を開催する場合の時間設定の参考としてまいりたいと思います。

また、参加者の自治町内会ブロックのアンケートでは、片瀬山ブロックの方が55%と一番多く、次に西ブロックが18%、東が9%と、片瀬山住民の関心の高さがうかがえる結果となりました。

この他、会場設営に関して、イスのみだと資料が多い場合などメモが取りづらいのでテーブルを設置して欲しいというご意見をいただいておりますので、次回開催時には工夫してまいります。

当日は、多くの参加者から、意見や質疑が出され、参加者の皆さん、市担当課職員、本協議会委員の中で、期待以上に活発な意見交換が実施されました。

ただ、参加者の中で興味の高かった「片瀬山幼稚園跡地の利活用」について、市側の再整備に関する説明内容が、これまでの経過の中で住民が思っていた内容と差異（跡地の1/2売却など）があったため、参加者から不満の声も多く出てしまう結果となりました。

全体を通しては、今回の地区集会は、その開催目的を一定程度達成できたものと考えます。テーマのひとつとして設定した「片瀬山幼稚園跡地の利活用」については、今回の地区集会をキックオフとして、今後、設置される検討会議や多世代ワークショップ等を通して、住民の声を十分に聞きながら進めていく必要があります。市担当課に対しましては、これらを十分に踏まえた今後の施策展開を要望してまいりたいと考えます。

5. まちづくり地区集会について

<<平成 29 年度第 2 回>>

日 時 2017 年 10 月 24 日（火）18 時 30 分～20 時 20 分（110 分間）

会 場 片瀬市民センター 2 階ホール

参加者 95 人（市民 63 人，委員 20 人，市長等関係課市職員 5 人，事務局 7 人）

内 容

－ 1 開 会（18:31） 司会：徳江副会長

－ 2 会長挨拶（長谷川会長）

－ 3 議 題

（1）オリンピック・パラリンピックに向けた情報提供について

- ・ 1964 年オリンピック東京大会記録映像の上映会
- ・ 東京 2020 大会に向けた準備状況と今後の予定について
- ・ 東京 2020 大会に向けた市民参加の取組について

－ 4 概 要

（1）協議会について簡単にご説明し，今回の地区集会テーマを決めるに至った経緯について，オリンピックを盛り上げる，地域活性化のきっかけ作りとして開催したことを説明した。

（2）1964 年オリンピック東京大会記録映像の上映会

（3）東京 2020 大会に向けた準備状況と今後の予定について

東京オリンピック・パラリンピック開催準備室から，スライド（PowerPoint）を使用しながら，東京 2020 大会に向けた準備状況と今後の予定について説明を行った。

《説明要旨》

- ・ オリンピックは 2020 年 7 月 24 日～8 月 9 日で 33 競技，パラリンピックは 8 月 25 日～9 月 6 日で 22 競技が開催される。セーリングはパラリンピックでは開催されない。
- ・ 1964 年東京オリンピックでは，現在の湘南港，江の島大橋と弁天橋，聖火台が整備され，他には市民有志により起草された藤沢市市民憲章がレガシーとして現在まで受け継がれている。
- ・ 今回のオリンピックでは，神奈川県が江の島大橋の 3 車線化，江の島弁天橋の橋面改修を行ったり，女性センター跡地を駐車場等に有効活用する。
- ・ 東京 2020 大会までの主な予定として，毎年様々な国際大会が開催される。江の島もセーリングの W 杯等が開催される。
- ・ 藤沢市も開催都市として，各種イベントを開催し，オリンピック開催への気運を高めていく。

5. まちづくり地区集会について

《質疑応答・意見交換》

■弁天橋の改修に関連して、トンネル部分から橋の間はどのように取り扱っていくのか。現在も雑草が生え、ごみが散乱している。

オリパラ準備室：結論から申し上げますと現在検討中である。情報は準備室に入ってきていない。本日は県が行う部分を中心に説明したが、藤沢市でも整備する計画を立てている。ハード面だけでなく、ボランティア等のソフト面による整備も検討している。

■神奈川県知事がセーリングの誘致活動をしていたことは、藤沢市は知っていたのか。

オリパラ準備室：元々セーリングは東京で行われる計画であったが、その会場が使えなかったため藤沢市が県と協同で誘致した。

■観客席はどのあたりに設けられ、規模はどのくらいなのか。

オリパラ準備室：組織本部で検討されている。レイアウト案は組織本部から提示されており、観客席は5,000席でオーロラビジョンを使う計画となっている。決勝戦は灯台の先の方になるよう、藤沢市から提案している。

■外国人が多く来ると思うが、テロ対策は何か検討しているか。

オリパラ準備室：対策計画の策定に向けた下地造りと対策訓練を行っている。消防、県警、海上保安庁と協力指定、災害対策、テロ対策を行っている。

(4) 東京2020大会に向けた市民参加の取組について

東京オリンピック・パラリンピック開催準備室から、スライド(PowerPoint)を使用しながら、東京2020大会に向けた市民参加の取組について説明を行った。

《説明要旨》

- ・ 藤沢市はオリンピックに向けた市民協同組織「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」を設立し、支援方針の基本的な考え方として、市民参加型の大会を推進し、未来に向けたレガシーを創出する、としている。
- ・ 2020年に向けた盛り上げとして、オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ体験教室やボランティアシンポジウムを開催してきた。
- ・ 今年度以降も同様に盛り上げる取組を進めていく。
- ・ 東京2020大会におけるボランティアとして、①大会ボランティア、②都市ボランティア、③藤沢市の独自ボランティアの3つに分けられる。
- ・ ボランティアの実例として、ロンドン2012大会ではボランティアに参加した方々が「チーム・ロンドン」として観光ボランティア活動を続けていて、レガシーの一つとなっており、藤沢市としても同様の取組、レガシー化を見込んでいる。

5. まちづくり地区集会について

- ・ 大会ボランティアや都市ボランティアについては、来年の夏頃から募集が始まる。
- ・ 藤沢市の独自ボランティアも来年から募集を始めて、随時活動を行っていく。
- ・ 上記のボランティアとは異なり、市民全員が参加できる取組として（仮称）市民応援団の活動を今年度末から開始する。
- ・ （仮称）市民応援団は市民の発意による取組や、アイデア・提案等を実現することで、藤沢市全体として東京 2020 大会を応援するムーブメントを創出することを目的としている。
- ・ 市民参加型のオリンピック・パラリンピックの実現に向けて、市民、関係団体、行政が一体となって取り組んでいきたい。

《質疑応答・意見交換》

- 江の島ヨット音頭について、江の島の婦人部（さざなみ会）が練習している。ヨット音頭を披露する機会等は有るのだろうか。

オリパラ準備室：近々のイベントでは、1000日前イベントで踊ってもらったりしている。市民の方々にも広めていきたいと考えており、準備室としても支援していきたい。オリンピックはスポーツだけでなく、文化の祭典としての一面もある。ヨット音頭を活かしていきたい。

- ヨット音頭をぜひ習ってみたい。町内会の盆踊りでも取り入れていきたいと思うし、広めていきたい。

- オリンピックは3年後だが、イメージが湧かなかったので、今日は来て良かった。暑い時期だが、文化面でも何か盛り上がるものが有ればよいと思っている。

オリパラ準備室：熱中症対策も大切だと思っている。

- セーリングは競技自体定着しているとは考えにくい。ルール等の普及を始めとした啓発活動が必要に思う。

オリパラ準備室：パンフレット作成の他、県は動画も作成している。小学生向けの資料も作っており、これからも啓発活動に力を入れていきたい。

《まとめ》

東京オリンピック・パラリンピック開催準備室松崎室長

《発言要旨》

- ・ 藤沢市の独自ボランティアについて、仕組みはこれから作っていく。公式ボランティアは来年の夏から募集するが、その案内は藤沢市 HP や広報ふじさわ等をご覧いただきたい。
- ・ これからボランティアイベントが目白押し。公式 HP も立ち上げて行く予定である。
- ・ （仮称）市民応援団については、オリンピックを盛り上げていく仕組み作りであると思っていただきたい。

5. まちづくり地区集会について

- ・ 施設整備に関しては、夏場のトップシーズンということもあり、様々な問題が想定されるので、適宜対応していきたい。渋滞、災害、テロ等、市民生活を守るための準備を重ねていきたい。
- ・ 今後も、情報提供や意見交換の場があるとありがたい。

－ 5 総 括

- ・ 今回は事前の申込者も多く、オリンピックのボランティアを含めた取組への関心の高さ、期待感が伺えた。
- ・ 開催手法では初めての平日の夜の開催ということで人が集まるのか心配されたが、多くの方に参加いただけた。準備に関してはオリパラ準備室との検討を重ね、資料、説明内容の熟度を出来る限り高めて集会に臨んだことで、初めて聞く参加者にも一定わかりやすい説明ができたのではないかと思う。
- ・ 今後、オリンピック・パラリンピック関連については継続テーマとして、2020大会に向けた準備等の進捗状況を踏まえながら時期を捉えて取り上げていく。

以 上

5. まちづくり地区集会について

<<平成 29 年度第 3 回>>

日 時 2018 年 2 月 24 日 (火) 13 時 30 分～15 時 40 分 (130 分間)

会 場 片瀬市民センター 2 階ホール

参加者 53 人 (市民 32 人, 委員 14 人, 事務局 7 人)

内 容

－ 1 開 会 (18:31) 司会 : 川島委員

－ 2 会長挨拶 (長谷川会長)

－ 3 議 題

「みんなで考える！片瀬・江の島の地域課題

総決算！平成 28・29 年度まちづくり事業の活動を振り返る」

(1) 平成 28・29 年度のまちづくり協議会活動報告

(2) トークセッション (進行 : 川嶋委員, 中川委員)

(登壇者) 片瀬・江の島まちづくり協議会会長 長谷川紀夫

ボランティアセンター運営委員会会長 澁谷晴子

青少年健全育成部会副会長 吉見美江

公民館活用部会部会長 田村順子

まちづくり推進部会部会長 高木誠四郎

郷土文化推進部会部会長 畠山義昭

<テーマ①環境づくり>－安心安全な地域づくり、施設や史跡等の修繕、改善

<テーマ②担い手>－地域で活動するボランティアに関する事

<テーマ③地域情報の発信>－片瀬・江の島地区の魅力ある情報の発信・有効活用

<テーマ④コミュニティ>－地区内における地域住民の居場所、交流の場

※各テーマにおいて活発な意見交換が行われた。詳細は、トークセッションの性質上省略。

－ 4 総 括

- ・ 今回の地区集会については、2 年間の活動の総括としての位置づけで開催するにあたり、単なる活動報告とするのではなく、委員の生の声で語っていただくことを重視し、初めての試みとしてトークセッション形式で実施した。
- ・ 当日は、登壇者の急な変更や、時間が想定よりもだいぶ押してしまったことなどもあったが、委員の臨機応変な対応により実施することができた。
- ・ また、委員の言葉で話したことにより一方的な説明ではなく、活動に際しての苦労話や印象に残っていることなども伝えることで、会場の皆様にも、よりまちづくり協議会の活動の様子等を具体的に知っていただく機会になったのでは

5. まちづくり地区集会について

ないかと思う。

- ・ 一方で、初めて聞く参加者には活動の内容がわからない方もいて、配布した活動報告書を参照しながら説明するなどの工夫が必要であった。また、想定よりも委員のやり取りに時間がかかってしまい、もう少し会場とのやり取り（質疑応答・意見交換）の時間が取ればよかった。

以 上